

大溝小学校区

水の事故を防ぐための設備・用具

● 救命ポリタンク



● 救命浮き輪



▲ ステップ (はしご)



□ 令和2年7月豪雨で冠水した道路



笹刈東地区…玉垂宮周囲の水路、水面までの斜面は緩やかだが柵はない。



笹刈本村地区…広い水路、道路にはガードレールがない。



土甲呂地区…国営水路をつなぐ水路、幅はせまいが深さは4mある。ステップがないので上がれない。



道本地区…造られて年数のたった橋、欄干が低く、ガードレールがない。



前牟田東地区…公民館前の水路、岸が垂直になっている。



笹刈西地区…岸が垂直になっている。ステップが各所につけられている。



大角西地区…ヨシがしげって水面が見えない。



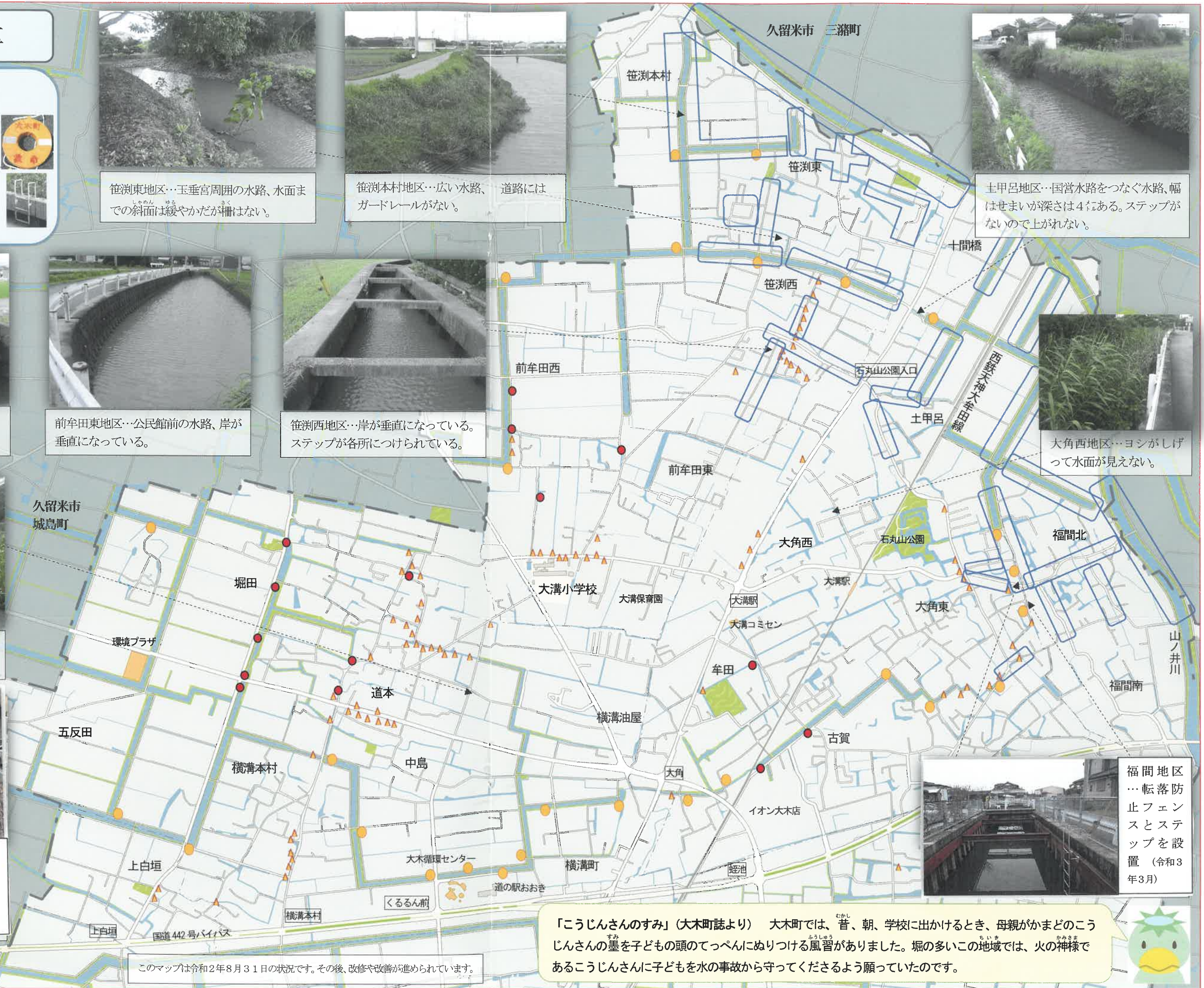
中島地区…ガードレールが途切れているところがある。



横溝町地区…水路の幅はせまいが、深さは、およそ4mもある。転落防止フェンスと落ちた時に上がるためのステップが設置された。(令和3年3月)



福間地区…転落防止フェンスとステップを設置(令和3年3月)



このマップは令和2年8月31日の状況です。その後、改修や改善が進められています。

「こうじんさんのすみ」(大木町誌より) 大木町では、昔、朝、学校に出かけるとき、母親がかまどのこうじんさんの墨を子どもの頭のでっぺんにぬりつける風習がありました。堀の多いこの地域では、火の神様であるこうじんに子どもを水の事故から守ってくださるようお願いしていたのです。

